

福岡県森林・林業の動向

— 平成22年度 林業白書 —

福 岡 県

目 次

特集 緑豊かな森林づくりを進めています！	P 1
第1章 福岡県森林・林業の動き	P 3
第2章 施策の展開方向	
1 多様な森林づくり	
(1) 水土保持林	P 6
(2) 森林と人との共生林	P 11
(3) 資源の循環利用林	P 13
2 豊かな森林を育む担い手づくり	
(1) 森林を守る人づくり	P 14
(2) 森林を守る組織づくり	P 15
(3) 森林を支える活動	P 16
3 林産物の安定供給体制づくり	
(1) 県産材の安定供給体制の整備	P 17
(2) 特用林産物の安定供給体制の整備	P 24
第3章 地域の動向	
1 福岡農林事務所管内	P 26
2 朝倉農林事務所管内	P 27
3 八幡農林事務所管内	P 28
4 飯塚農林事務所管内	P 29
5 筑後農林事務所管内	P 30
6 行橋農林事務所管内	P 31

付属統計・資料

緑豊かな森林づくりを進めています！

木材価格の長期低迷による林業の不振により、水源かん養や山地災害の防止など様々な機能を有する森林が荒廃しています。県では、平成20年4月に森林環境税を導入し、県民の皆さんの理解と協力のもと、荒廃森林の再生や県民参加の森林づくりに取り組んでいます。

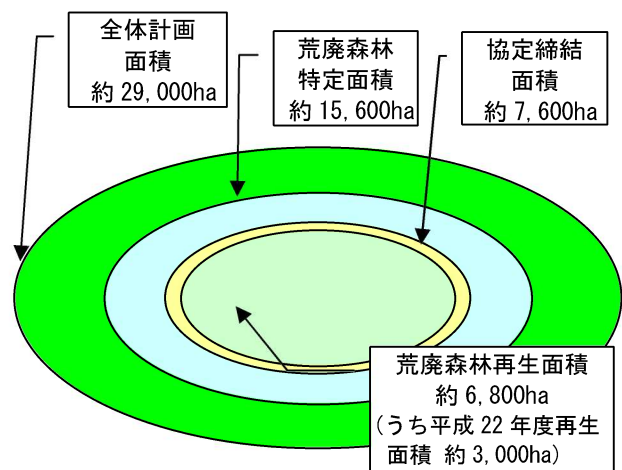
荒廃森林の再生が計画的に進む

県では、29,000haの荒廃森林を10年間で健全な森林に再生するため、荒廃森林再生事業を活用し、間伐などの森林整備を行っています。

22年度の荒廃森林の再生は約3,000haで、ほぼ計画どおりに進んでいます。

今後とも、対象地を特定する現地調査や森林所有者との協定締結を先行して実施することが課題です。

このため、事業を実施する市町村と連携し、広報紙やホームページなどによる啓発活動により協定締結を促進し、荒廃森林の再生を推進します。



荒廃森林再生事業の実施状況（22年度末）

資料：森林保全課調べ

荒廃森林再生事業の実績

年度 区分	平成20	21	22年度	計
森林の整備	1,190ha	2,568ha	2,976ha	6,734ha
森林の造成	2ha	7ha	—	9ha
荒廃森林の公的取得	8ha	7ha	1ha	16ha
合計	1,200ha	2,582ha	2,977ha	6,759ha
作業路の開設	14km	11km	25km	50km

資料：森林保全課調べ

＜荒廃森林再生の実施状況＞



実施前



実施後

ストックポイント設置で未利用間伐材の有効利用が進む

未利用間伐材の有効利用を図るため、効率的な搬出を行うストックポイントを県内6か所に設置し、22年度は約12,000 m³を利用しました。

今後、未利用間伐材の搬出を継続的に進めるためには、搬出材の活用が課題となっています。

このため、森林組合等のストックポイント事業者は木材チップ等を安定的に利用する需要者の開拓に取り組む必要があります。



ストックポイントでの間伐材の集積

県民参加の森林づくりを推進

県では、森林を県民共有の財産として社会全体で守り育てるため、森林環境税を活用して、ボランティア団体やNPOが自ら企画立案し実行する森林づくり活動を推進しています。22年度の参加者は約13,000人で、前年に比べ約5,000人増加しました。

<活動事例>

○ 農地等を守る松林の保全

岡垣町では、玄界灘の潮風から農地を守る三里松原を保全するため、農家などの地域住民が中心となり、間伐や松葉かきを実施しました。



農家など地域住民による松林整備

○ 漁業者による森林づくり

川から運ばれる森林の養分が豊かな漁場を作り出していることから、福岡市で漁業者が中心となり広葉樹2,000本を植樹しました。



漁業者を中心とした植樹

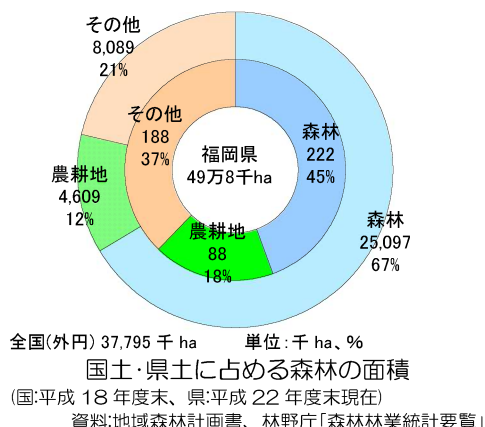
県民の理解と協力のもと 県内の苦慮森林の再生を計画的

第1章 福岡県森林・林業の動き

1 森林の現状

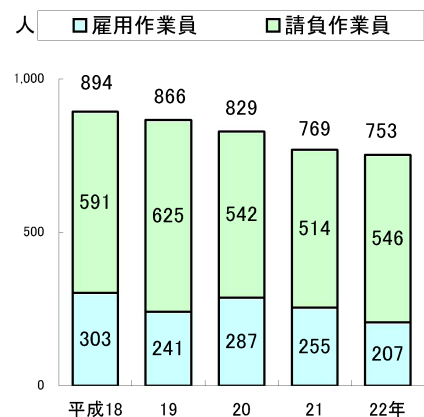
森林面積は22万2千ha、県土面積に対する森林の割合は45%で、全国平均の67%（18年度末）より、20ポイント以上低い割合です。

民有林の人工林は12万9千haで、人工林率は66%です。これは全国平均46%（18年度末）より20ポイント高くなっています。



2 森林組合作業員数

森林組合の作業員は、雇用作業員が減少する一方で請負作業員が増加し、前年並みの753人となりました。



森林組合作業員の推移

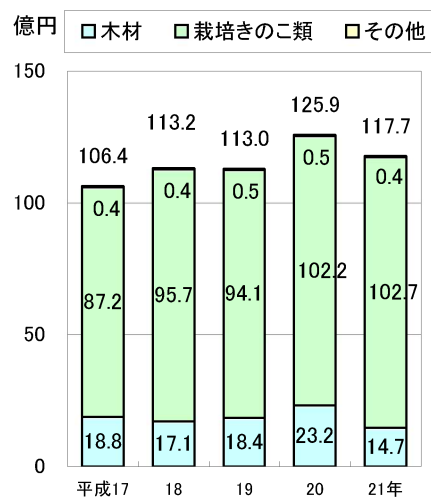
資料：団体指導課、林業振興課調べ

3 林業産出額

21年の林業産出額は約118億円で、前年に比べ約8億円（6.5%）減少しました。（全国は7.3%の減）

このうち木材の生産額は約15億円で、前年に比べ約8億円減少しました。これは、20年秋以降の景気後退による新設住宅着工戸数の落ち込みにより素材生産量が減少したためです。

また、栽培きのこ類の生産額は約103億円で、前年並みでした。



林業産出額の推移

※木材には竹材を含む 資料：農林水産省「生産林業所得統計」「平成21年林業産出額」

4 福岡県林業・木材産業の主要指標

項目	単位	福岡県	全国	全国シェア (%)	全国ランク	概要
民有林の状況						
蓄積	千m ³	44,907	3,353,465	—	—	県：平成23年3月末現在(森林保全課調べ) 全国：平成19年3月末現在(2010年森林・林業統計要覧：林野庁) 県：平成22年度実績(林業振興課調べ) 全国：平成20年度実績(2010年森林・林業統計要覧：林野庁) 県：平成22年度実績(森林保全課調べ) 全国：平成20年度実績(2010年森林・林業統計要覧：林野庁) 県：平成23年3月末現在(林業振興課調べ) 全国：平成21年3月末現在(2010年森林・林業統計要覧：林野庁)
造林面積	ha	284	23,400	—	—	
間伐面積	ha	7,093	434,000	—	—	
主伐面積	ha	300	77,804	—	—	
林道延長(自動車道)	km	1,511	92,497	—	—	
林道密度	m/ha	7.7	5.3	—	—	
林業・木材産業の状況						
森林組合数	組合	22	692	—	—	県：平成23年4月1日現在(団体指導課調べ) 全国：平成22年3月末現在(平成21年度森林組合統計：林野庁) 県：平成22年3月末現在(団体指導課調べ) 全国：平成22年3月末現在(平成21年度森林組合統計：林野庁) 平成22年12月末現在 (平成22年木材統計：農林水産省統計部)
森林組合員数	人	30,751	1,573,929	—	—	
製材工場数	工場	159	6,569	—	—	
主な林産物生産量						
素材	千m ³	140	17,193	0.8	32	平成22年次実績(平成22年木材統計：農林水産省統計部) 県：平成22年次実績(林業振興課調べ) 全国：平成21年次実績(平成21年特用林産基礎資料：林野庁) ※生に換算した重量 県：平成22年次実績(林業振興課調べ) 全国：平成21年次実績(平成21年特用林産基礎資料：林野庁)
しいたけ	トン	996	100,195	1.0	30	
ぶなしめじ	トン	11,767	110,741	9.7	3	
えのきたけ	トン	7,182	138,501	4.8	3	
たけのこ	トン	13,226	30,812	26.1	2	
木ロウ	トン	22	22	93.2	1	
林業産出額	千万円	1,177	41,222	2.9	9	平成21年次実績(平成21年林業産出額：農林水産省統計部)
木材生産	千万円	147	18,607	0.8	30	
薪炭生産	千万円	4	491	0.8	24	
栽培きのこ類	千万円	1,027	22,002	4.7	4	
林野副産物採取	千万円	—	122	—	—	
木材価格						
スギ(中丸太)	円/m ³	12,300	11,800	—	—	県：平成22年次県森連浮羽事業所実績値(径18~22cm、4m) 全国：平成22年次実績(農林水産統計 平成22年次木材価格：農林水産省統計部)
ヒノキ(中丸太)	円/m ³	19,500	21,600	—	—	
緑化木						
生産本数	百万本	10	100	10.0	3	県：平成22年実績(林業振興課調べ) 全国：平成21年実績(平成21年度林野庁研究保全課報告)
生産額	億円	31	—	—	—	

注1) 全国ランク・シェアは、全国の数値の統計年次・年度におけるものを示している。

2) 「—」印は、シェア算出又はランク付けに適当でないもの。

3) 「年度」は4月から翌年3月まで、「年次」は1月から12月までを表す。

5 福岡県林業・木材産業の全国的地位

区 分			単位	全国シェア 全国計	主 産 県					
					1	2	3	4	5	
特用林産物	食用	キノコ類	えのきたけ	t	4.8 138,501	長野 83,890	新潟 21,811	福岡 6,649	北海道 4,288	山形 2,694
			ぶなしめじ	t	9.7 110,741	長野 47,500	新潟 20,610	福岡 10,761	香川 6,954	北海道 3,379
			まいたけ	t	8.6 40,998	新潟 25,168	静岡 5,055	福岡 3,509	北海道 2,418	群馬 1,716
			エリンギ	t	4.6 37,223	新潟 12,236	長野 11,797	広島 2,619	香川 1,837	福岡 1,709
	その他	たけのこ	t	26.1 30,812	鹿児島 8,935	福岡 8,051	熊本 3,438	京都 1,710	徳島 1,072	
	非食用	木ロウ		t	93.2 22	福岡 21	愛媛 2			
		竹材		千束	6.1 995	鹿児島 419	熊本 133	大分 118	山口 70	福岡 61
		竹炭		t	33.7 897	福岡 302	熊本 65	山口 64	京都 52	鹿児島 33
		竹酢液		千L	6.4 357	香川 129	熊本 25	福岡 23	福井 21	鹿児島 20
	緑化木	生産本数		千本	11.4 100,424	愛知 24,245	兵庫 16,142	福岡 11,545	東京 7,395	埼玉 7,268
生産面積		a	14.3 707,642	福岡 101,425	熊本 65,326	千葉 62,673	栃木 60,458	愛知 52,634		

参考資料) 特用林産物：平成21年次実績(平成21年特用林産基礎資料：林野庁)
 緑化木：平成21年実績(平成21年度林野庁研究保全課報告)